

完了届チェックシート【舗装掘削を伴う道路占用の場合は必須】 ※チェック欄に記載して完了届と一緒に提出

〔工事写真の撮影方法〕

チェック欄	内 容
	1 施工前 ^① の状況
	2 施工後 ^② の状況(完成写真)
	3 工事箇所のカッター工の状況
	4 舗装掘削工の状況
	5 現況の舗装厚の状況・計測
	6 路盤・路床掘削工の状況
	7 占用工事物件の設置状況
	8 占用工事物件から舗装面までのG L計測
チェック欄	【以下、転圧層ごとに転圧状況及び転圧終了後の写真を撮影】 ※該当なしは[－] 入力
	9 路床各層の転圧状況、転圧終了・G L計測
	10 下層～上層路盤工各層の転圧状況、転圧終了・G L計測
	11 下層～上層路盤工各層で使用した材料の記録
	12 乳剤（プライムコート）散布状況、養生砂散布状況
	13 ダンプトラックによる運搬時の、アスファルト混合物の温度計測
	14 敷均しのときの、アスファルト混合物の温度計測
	15 舗装基層工各層の転圧状況、転圧終了・G L計測
	16 表層～基層工各層で使用した材料の記録
	17 乳剤（タックコート）散布状況、養生砂散布状況
	18 舗装表層工（1層目）の転圧状況、転圧終了
	19 舗設の継目及び絶縁部へのシールコート剤散布状況
	20 舗装面の原状復旧（センターライン等の区画線（仮区画線を含む）や点字ブロック等）施工状況

〔道路占用許可書交付後の処理〕

チェック欄	内 容
	1 道路占用の許可条件どおり施工されるように、許可書に添付されている書類（道路の復旧方法や道路の組成図等）の内容を工事請負業者や施工業者に周知している。
	2 仮復旧中は仮舗装中であること及び占有者名、請負業者名、連絡先等を明記した標示板を仮舗装区間100mおきに掲示し住民に周知を図っている。
	3 仮復旧工事完了後の自然転圧期間中は、定期的に現況を確認し、舗装劣化や近隣の住宅等で振動苦情が発生しないようにするとともに、影響範囲が沈下した場合は、補修等の対応を随時行っている。
	4 舗装の本復旧工事が完了したら、遅滞なく、工事着手前の状況・工事施工中の状況・工事完了後の状況等の工事写真を完了届に添付して届け出ることを理解している。
	5 舗装の切断は路面に対し直線・垂直に行い、掘削箇所をはみ出す形で余分なカッター跡を残さず、仮復旧時はカッター跡・舗設の継目・絶縁部の目地埋めや、シールコート等を使い、舗装を密着させている。
	6 舗装の敷均しの際には、アスファルト混合物の温度が摂氏110度を下回らないように注意し、温度計とともに何度で敷均しを行ったかを工事写真で明らかにしている。
	7 道路占用許可に基づく工事は、工事の施工に係る道路構造物の損傷の復旧の責任義務を負い、道路管理者から、工事の施工に起因する損傷の復旧を指示されることを理解している。
	8 道路を横断して掘削する場合は片側交互通行が図れるよう、一車線を確保している。 工事中に工事箇所の前後で渋滞が発生の場合は、工事状況に応じて両側車線通行等の対応をしている。
	9 復旧工事は、原則として即日で行い、道路を一般交通に開放している。 ただし、工事内容や工事箇所の延長に応じて、数日に分けて施工している場合は、路面上が施工中の状況のままで、交通上支障がある状態では一般交通に開放していない。
	10 申請図面どおりの施工内容でない、工事写真から工事内容・転圧状況が確認できない、復旧方法等の施行条件を満たしていない等の場合は、再施工を指示されることを理解している。